

法人名：

公益財団法人 秋田県国際交流協会

設立年月日 平成3年7月1日

1 法人の概要

代表者職氏名	理事長 佐竹 敬久	基本財産等	975,254千円	県出資等額及び比率	750,000千円	(76.9%)	所管部課名	企画振興部国際課
設立目的	県民の国際理解を深め、国際交流活動を促進することにより、様々な国籍や多様な文化的背景を持つ人々が、共に安心して暮らし、地域の活性化を図り、多文化共生のまちづくりを推進することにより、秋田県の国際化に寄与することを目的とする。							
事業概要	①外国籍県民のサポート ②国際理解の促進・人材育成 ③国際交流・国際理解・多文化共生等に関する団体の支援及び団体への活動機会の提供 ④国際交流に関する情報提供 ⑤海外諸国との友好交流							
関連法令、県計画	あきた国際化推進プログラム、新秋田元気創造プラン							
役員数 (R5.7.1現在)	理事		監事		評議員		計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
	1	6		2		7	1	15
職員数 (R5.4.1現在) 正職員 2(1) 出向職員 1 臨時・嘱託 3 計 6(1)								
※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧(内数)で表示。								

2 法人の行動計画(令和4～7年度)

県関与のあり方	継続	経営状況	安定	取組の方向性	・安定的経営の継続 ・公益的事業の安定実施
目標	○外国人も安心して生活できる多文化共生社会を推進するため、地域で外国人を支えることのできる人材の掘り起こし及び育成を行う。				
取組	○多文化共生人材育成のため、あきた日本語サポーター登録者数を増やすとともに、人材育成に関する各種事業を実施する。 【目標】 あきた日本語サポーター登録者数 R4年度:93人、R5年度:96人、R6年度:98人、R7年度:100人 多文化共生推進に係る担い手育成研修等の実施回数 R4年度:20件、R5年度:21件、R6年度:22件、R7年度:23件				

3 財務

①正味財産増減計算書

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和4年度
経常収益	33,943	35,144
基本財産・特定資産運用益	25,511	25,510
受取会費・受取寄附金	479	456
受託事業収益	5,353	7,482
自主事業収益		
受取補助金・受取負担金	2,595	1,696
その他の収益	5	
経常費用	33,895	30,791
事業費	24,161	22,534
管理費	9,734	8,257
人件費(事業費分含む)	19,989	18,469
当期経常増減額	48	4,353
経常外収益		
経常外費用		
当期経常外増減額		
当期一般正味財産増減額	48	4,353
当期指定正味財産増減額		
当期正味財産増減額合計	48	4,353

②貸借対照表

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和4年度
流動資産	20,379	20,657
固定資産	1,232,699	1,236,807
資産計	1,253,078	1,257,464
流動負債	705	738
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	705	738
指定正味財産	1,201,254	1,201,254
うち基本財産充当額	975,254	975,254
一般正味財産	51,119	55,472
うち基本財産充当額		
正味財産計	1,252,373	1,256,726
負債・正味財産計	1,253,078	1,257,464

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

③県の財政的関与の状況(事業費補助・委託を除く)

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和4年度	支出目的等
年間支出			
年度末残高			

<主な経営指標>

項 目	令和3年度	令和4年度	増減※
経常収支比率 (経常収益÷経常費用)	100.1%	114.1%	+14.0
流動比率 (流動資産÷流動負債)	2890.6%	2799.1%	△91.6
自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)	99.9%	99.9%	△0.0
有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)			

※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。

<退職給与引当状況(単位:千円)>

要支給額	引当額	引当率(%)
0	0	-

※要支給職員なし。

法人名：

公益財団法人 秋田県国際交流協会

I 自己評価

<p><b>1 行動計画における目標及び取組の達成状況</b></p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>○あきた日本語ボランティア登録者数 105人 ○多文化共生推進に係る担い手育成研修等の実施回数 23件</p>	<p><b>2 経営状況</b></p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>○令和4年度の収支決算は、職員の退職による人件費の減や物件費の節減などで、435万円の黒字となった。 ○なお、当期黒字のうち400万円については、今後の専門性の高い職員の確保・育成に備えて平成26年度に創設した「人材確保・育成積立金」に積み立てた。 ○当期も基本財産・特定資産の取り崩しはなかった。</p>				
<p>【自己評価】</p> <p>○日本語学習支援に関心のある方を対象とした講座や通訳・翻訳等を行うコミュニティサポーターを対象とした研修等の開催、職場訪問やインターンシップの希望者の積極的な受入れなどを図ったことで、目標を達成した。</p>	<p>【自己評価】</p> <p>○県からの財政的支援はなく、累積債務もない。財務状況は安定しているが、将来の受託事業収入の減少や人件費の増加に備え、今後も継続してコスト管理を行う。</p>				
<table border="1"> <tr><td>評価</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	評価	A	<table border="1"> <tr><td>評価</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	評価	A
評価					
A					
評価					
A					

II 所管課評価

<p><b>1 行動計画における目標及び取組の達成状況</b></p> <p>○行動計画に掲げた目標は達成されており、引き続き目標達成に向けた取組を続けていきたい。</p>	<p><b>2 経営状況</b></p> <p>○財源が安定的に確保されており、出捐金の取崩及び、県からの運営費補助及び貸付けは行われておらず、健全な財務状況を維持している。 ○法人全体の経常収支比率は+5%を超えているものの、公益目的事業会計においては財務3要件を満たしており、健全な財務状況を維持していることも併せ、A評価とする。</p>				
<table border="1"> <tr><td>評価</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	評価	A	<table border="1"> <tr><td>評価</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	評価	A
評価					
A					
評価					
A					

III 委員会評価

<b>総合評価</b>	<b>法人全体の取組・運営状況に関するコメント</b>
A	<p>○行動計画に定めた目標については達成されているほか、SNSを活用した情報発信についても積極的に行われており、各種取組の実施について評価できる。 ○県からの運営費補助や貸付等は行われておらず、安定した経営状況であると評価できる。</p>

【委員からの提言】

○国際化の進展のほか、少子高齢化に伴う労働人口の減少により外国人材を受け入れる企業も増えてきており、今後、国際交流の機会が増加し、同法人の果たす役割は益々重要となると予測される。今後は、秋田県全域での人材確保や人材育成を念頭において、法人運営を進めていただきたい。

委員会評価を踏まえた対応方針

<p><b>法人の対応方針</b></p> <p>○今後も、健全な財務状況の維持と業務の効率化を図るとともに、本県の国際化及び多文化共生社会推進の中核的な組織として、県内在住外国人の増加を見据えた人材の育成や支援策の充実等に努める。</p>	<p><b>所管課の対応方針</b></p> <p>○引き続き、安定した法人運営がなされるよう、必要な指導監督を行うとともに、本県の国際化推進及び多文化共生社会推進のパートナーとして、適切な役割分担のもと、協働して取組を進めていく。</p>
--	--